

令和5年6月18日 10時開催

南小タウンミーティング 事後アンケート に対する回答

※内容を「①すぐできるもの」「②時間がかかるもの」「③できないもの」に分類し、「分類」欄に①～③の番号を記入してください。

No.	内容	分類	回答
1	コミセンで出た大型ゴミですが、処理券を貼っても持っていかけてもらえないのですか？	③	【市民部 環境整備室】 市が収集処分するごみは、家庭から排出される一般廃棄物です。コミセン（公共施設等）は、事業所ですので、事業所から出る大型ごみは、市では収集できません。 ご理解のほどよろしく申し上げます。
2	市内の公園が池田市に比べ管理が悪く、造れば造り放し、特にトイレ等は池田はよく管理されている。	①	【みどりまちづくり部 公園緑地室】 市内には約200か所公園があり、その内トイレは54か所設置しています。各トイレは、池田市同様週2回以上、清掃・消毒・トイレトペーパーの補充を行うなど、管理に努めています。
3	ベンチに背もたれないと不安な人もいるのではないかな？	②	【みどりまちづくり部 道路管理室】 現在検討している市内におけるベンチ設置計画において、背もたれの有無を含め、ベンチの構造等についても検討していきます。
4	昨年質問したことがあります。質問した人には後日質問の内容と答えとして返事が届きましたが、私の質問の内容が違ったものになっていました。残念でした。	—	【市民部 市民サービス政策室】 ご指摘の質問については、タウンミーティング当日のご発言内容を市側で要約して「質問内容」欄に記載した上で回答したのですが、結果的に意図と異なった質問内容となってしまう、申し訳ありません。 ご質問の意図を正確に汲んでご回答できるよう、留意して取り組んでいきます。
5	図書館 利用しやすさ（読書スペースの設置等）	①	【子ども未来創造局 中央図書館】 箕面市立図書館では、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、館内の座席数を減らしていましたが、現在は元の座席数に戻しています。 また、中央図書館、東図書館、船場図書館では、子どもたちがのびのび読書できるスペースと、大人が静かに読書できるスペースを分けて設置しています。その他の図書館についても、各世代のかたが利用しやすい運営に努めています。

6	歩道での自転車制限 危険→もっと取り締まり・標 示・啓蒙活動	② (啓 蒙活 動に つい ては ①)	<p>【総務部 市民安全政策室】</p> <p>本市では、全市立小学校で、自転車の安全な乗り方を指導する交通安全教室を実施し、全市立中学校では、スタントマンが自転車等の交通事故を再現するスケアード・ストレート交通安全教室を実施し、交通ルールや交通マナーの向上を図っています。広報啓発については、箕面市自転車安全利用条例を制定し、チラシ、ポスター等を作成、配布しています。また広報紙「もみじだより」に自転車の交通ルールに関する特集を掲載し、箕面警察署と連携して、自転車に対する交通安全啓発キャンペーンを実施しています。</p> <p>自転車に対する交通指導取り締まりの強化については、箕面警察署に要請しています。</p>
7	行政のDX化 全然進んでいない。	②	<p>【総務部 行政改革・DX 推進室】</p> <p>令和5年度中に対応可能な手続を100%オンライン化することを目標に、手続のオンライン化に向けた条例の制定や電子申請システムの導入、機能拡充を行っています。</p> <p>また、今年度、出生や転入などの8つのライフイベントにおいて、スマートフォン等から質問に答えていただくことで、必要な手続や持ち物、対応窓口を案内する手続案内サービスをはじめ、窓口やオンライン申請におけるキャッシュレス決済、道路情報や都市計画情報等がインターネットで閲覧できるシステムの導入を予定しています。引き続き、デジタル技術を活用しながら、利用者目線に立った市民利便性の向上と業務効率化に向けた自治体DXを推進していきます。</p>
8	高齢化対策。	②	<p>【健康福祉部 高齢福祉室】</p> <p>本市では、高齢になってもいきいきと生活できるよう、地域での介護予防の取組を推進しています。例えば、市西部では、西南生涯学習センターや市民会館において、体操指導やアンチエイジングセミナーなどの介護予防教室を開催しています。</p> <p>また、本市では「箕面市地域福祉計画」を策定し、高齢者だけでなく誰もが互いに支えあい、安心して暮らせる「地域共生社会」の実現</p>

			を目指しています。高齢化への対応においても、地域のささえあい体制の構築が重要と考え、「ささえあいステーション」等の取組を進めています。
9	大学（阪大、青山）との連携強化。	－	<p>【子ども未来創造局 文化国際室】</p> <p>平成17年11月に大阪青山大学、平成19年3月に大阪大学と連携協定を締結し、市主催のシニア塾への講師派遣や大学主催の市民講座の広報紙での周知のほか、さまざまな取り組みの中で連携を進めています。今後も他大学との連携協定締結を進めるとともに、市民が参加できる講座やイベント等で連携を進めていきます。</p>
10	東西の交通の利便性向上。	②	<p>【地域創造部 交通政策室】</p> <p>北大阪急行線の延伸開業に伴う阪急バス及びオレンジゆずるバスの再編により、市内の東西交通の利便性向上を図っていきます。</p>